

「仙北市」誕生を前に

田沢湖町・角館町・西木村

田沢湖町誕生50年記念式典並びに閉町式典

9月13日、田沢湖町民会館（現 仙北市民会館）を会場に開催された式典には、関係者や町民など約1,000人が出席。オープニングで田沢湖町民歌斉唱に続き、田沢湖町の50年のあゆみの写真、資料等がスクリーンに上映されました。



式典では、佐藤清雄田沢湖町長が「半世紀の時を刻んだ田沢湖町は仙北市に継承されます。新市における地域づくりは、全ての市民の力が結集され、はじめて実現するものです。融和と協調を大切にしながら手を携え、力強く進んでいきたい」と式辞を述べ、町に功績のあった功労者10人と4団体に表彰状が、45人と5団体に感謝状が贈呈されました。

小・中学生による田沢湖町の思い出や新市「仙北市」への希望を述べたスピーチが行われたあと、中学生4人により町旗の降納が行われ、佐藤町長に旗が手渡され式を閉じました。



田沢湖町の思い出をタイムカプセルに

角館町合併50周年記念並びに角館町閉町式



9月17日、角館広域交流センターを会場に開催された式典には、関係者や町民約250人が出席しました。

石黒直次角館町長が「角館町は、仙北市へと発展的な転換の時を迎えました。先人が築き上げてきた歴史文化を継承し、次世代へ伝え、昔から繋がりのある広い地域に育つ若い世代とともに力を合わせ、今まで育んできた地域の魅力と、これから生み出される魅力を一つに結集することにより、夢が生まれ新市は大きく飛躍するものと確信する」と式辞を述べ、町に功績のあった功労者27人を表彰、24人と1団体に感謝状が贈られました。



式典終了後、ロシアの劇作家チェーホフ原作の「プロポーズ」を秋田風に翻案脚色した喜劇「ぶろぼーず〜今は昔の大合併。嫁とり物語〜角館編」がたざわこ芸術村のみなさんにより特別上演されました。秋田弁で演じられた恋愛コメディに会場は笑い拍手につつまれ、幕が閉じられました。

3町村で閉町・村式

50周年を祝い、歴史の幕を閉じる

西木村村制施行50周年記念式典及び閉村式

9月13日、桧木内小学校体育館を会場に開催された式典には、関係者や村民約620人が出席しました。

田代千代志西木村長が「時代の推移とともに発展し続けた西木村は、発展的な終わりの時を迎えることとなりますが、この土地、住民、そして伝統文化は、新自治体の基礎となり生き生きとした新たな役割を担うことを信じ、最終の美の結実であり、発展のための終結であり、皆さまとともに今後の精進を誓い合いたい」と式辞を述べ、村に功績のあった特別功労者3人、功労者22人を表彰、5人と3団体に感謝状が贈られました。



閉村に当たり、村内の小中学生全員が作詞、秋田県出身の作曲家・橋本祥路氏が作曲した「美しいふるさと」を、児童生徒約400人が合唱。最後に中学生4人により村旗の降納が行われ、田代村長に旗が手渡され式を閉じました。



元気いっぱい合唱する子どもたち

3町村の功労者は次のとおりです。(敬称略)

【田沢湖町】

- ◇自治功労
高橋博、田口達生
- ◇教育文化功労
田口稔雄、大山文夫、田口幸治
- ◇産業振興功労
株式会社わらび座、NPO法人田沢湖ふるさとふれあい協議会、下田沢地区基盤整備事業組合、仙北郡黒倉堰土地改良区、添田吉治、佐藤和志
- ◇保健衛生功労
松田幸子
- ◇福祉功労
高橋顯作、堀川光博

【角館町】

- ◇町議会議員
相馬正志、戸澤清、佐々木章、熊谷佳穹、黒澤良太郎、太田司郎、田口勝次、齋藤千明、相馬隆俊、藤原万正、雲雀俊作、高久昭二、沢田信男
- ◇県議会議員
安杖正義
- ◇学校医
長山理三郎、佐藤紀政、野々部泰彦
- ◇監査委員
田口一郎
- ◇財産区管理委員
黒坂源悦、鈴木國男、茂木千代太郎、田口實
- ◇農業委員
中村豊、林崎寛、藤枝信雄、草薨順治、黒坂和夫

【西木村】

- ◇特別功労
武藤昭男、門脇兵一、杉村羊象
- ◇自治功労
梁田英夫、佐藤善太郎、布谷政男、小松清記、佐藤宗善、武藤耕三、浅利則夫、新山信雄、石川實
- ◇産業振興功労
布谷次郎、門脇繁、田口隆一、吉田卓、門脇幹雄、櫻田祐、新山昌樹、芳賀耕紀、橘建美
- ◇民生功労
上杉景次郎、佐藤昭三郎、浅利守、柴田和生